

沖縄県の道路



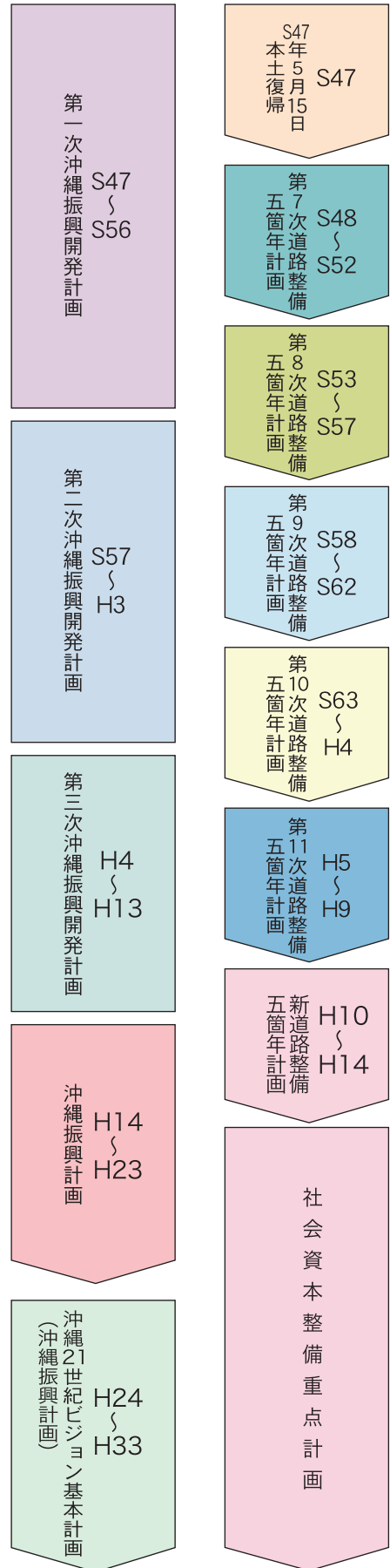
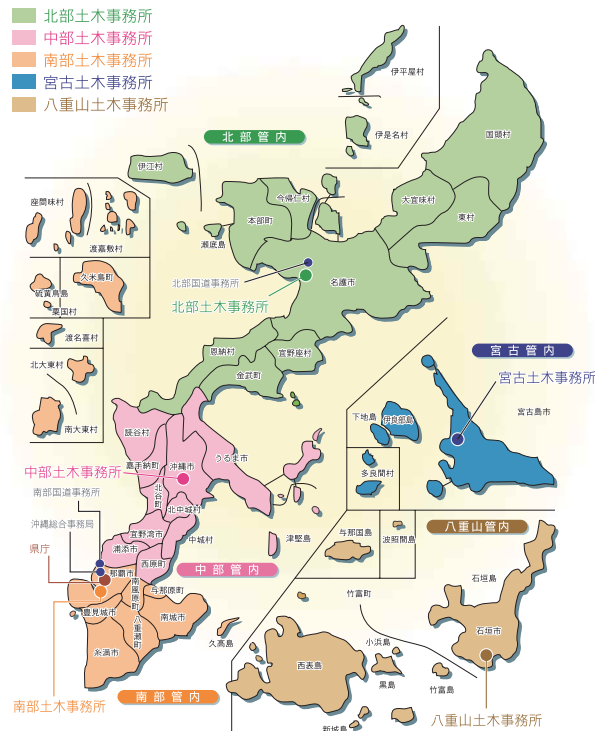
一般国道507号（津嘉山バイパス）

2014

沖縄県の道路 ~美ら島・うまんちゅの道づくり~

CONTENTS

沖縄の概要	1
道路の状況	2
交通の状況	3
1.機関別旅客輸送分担率の比較(域内量)	3
2.自動車保有台数	3
3.レンタカーの状況	3
4.交通量(平成22年度交通センサスより)	4
5.渋滞状況	5
道路の予算	6
道路の計画	7
道路の整備	12
1.高規格幹線道路	12
2.地域高規格道路	13
3.一般国道(指定区間)	15
4.一般国道(指定区間外)	17
5.主要地方道	19
6.一般県道	22
7.街路	25
8.交通安全・無電柱化・道路保全	31
9.道路の維持管理	33
10.市町村道	34
11.離島架橋	35
12.沖縄都市モノレール	36
資料	37



沖縄県は、我国の最南西端に位置し、東西約1,000km、南北約400kmに及ぶ広大な海域と、点在する49の有人島を含む160の島しょから構成される離島県であります。

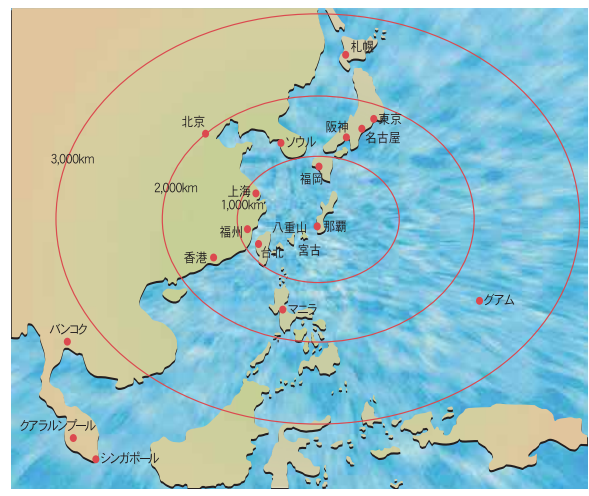
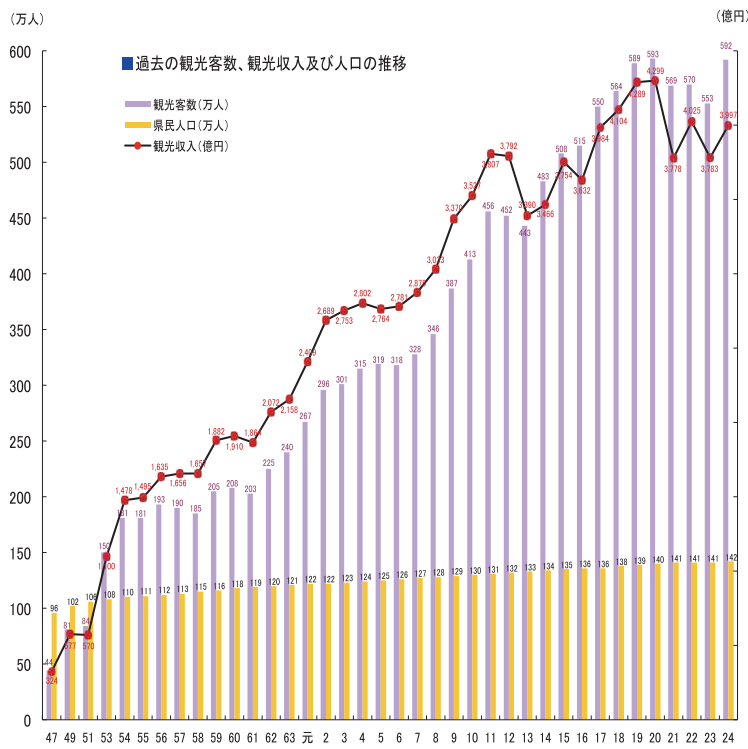
人口は昭和30年代から都心部を中心に急激に増加し、県土面積の約20%にあたる沖縄本島中南部に全人口の約82%が集中し、県土面積の約45%を占める離島の人口比率は約10%にすぎず、本島中南部における過密化と、離島へき地における過疎化が進んでいます。

本県は、日本では唯一の亜熱帯性気候と豊かな青い海、明るい太陽のもと、古くは「琉球」という独立国家の形態をとりながら、南方諸国や中国等との交易を通じて栄え、他県では見られない独特の琉球文化を育んできましたが、1879

年(明治12年)の琉球処分により日本へ帰属し沖縄県が誕生しました。

第二次大戦後は米国の軍事基地としてその施政権下におかれ、1972年5月15日、本土復帰が実現し今日に至っています。

平成17年4月1日に、石川市、具志川市、与那城町、勝連町がうるま市、平成17年10月1日には平良市、城辺町、下地町、伊良部町、上野村が宮古島市、さらに平成18年1月1日に佐敷町、知念村、玉城村、大里村が南城市、同日に東風平町、具志頭村が八重瀬町へそれぞれ合併し、これによって県下自治体数は、11市11町19村(平成26年4月1日現在)となりました。



順位	名称	面積(km ²)	人口	名称	面積(km ²)	人口
1	沖縄本島	1,208.29	1,291,671	佐渡島(新潟県)	854.53	61,292
2	西表島	289.28	2,235	奄美大島(鹿児島県)	712.52	64,092
3	石垣島	222.63	48,199	対馬島(長崎県)	696.62	34,407
4	宮古島	159.26	48,094	屋久島(鹿児島県)	504.89	13,319
5	久米島	59.11	8,472	種子島(鹿児島県)	445.05	30,804
6	南大東島	30.57	1,256	福江島(長崎県)	326.48	30,979
7	伊良部島	29.10	5,757	徳之島(鹿児島県)	247.77	25,437
8	与那国島	28.91	1,556	島後(島根県)	241.64	14,849
9	伊江島	22.77	4,822	利尻島(北海道)	182.16	5,075
10	伊平屋島	20.59	1,190	中通島(長崎県)	168.42	20,752

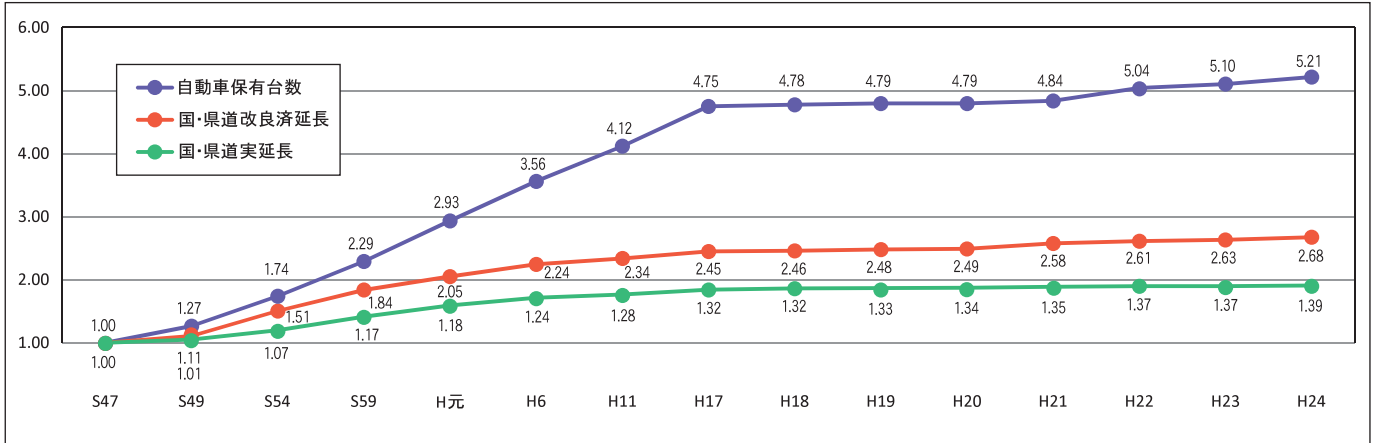
市町村一覧

(単位) 人口:人、世帯数:世帯、面積:km²、人口密度:人/km²

市郡名	人口	世帯数	面積	人口密度	市郡名	人口	世帯数	面積	人口密度
県計	1,437,994	591,269	2,276.72	632	うるま市	120,340	46,757	86.14	1,397
市部計	1,112,995	462,389	973.47	1,143	宮古島市	54,519	24,630	204.60	266
那覇市	320,889	140,302	39.27	8,171	南城市	41,351	15,083	49.78	831
宜野湾市	94,961	40,008	19.70	4,820	郡部計	324,999	128,880	1,303.25	249
石垣市	48,467	21,614	229.00	212	国頭郡	66,535	29,319	577.03	115
浦添市	113,752	45,949	19.30	5,894	中頭郡	153,134	57,975	106.82	1,434
名護市	61,080	26,667	210.38	290	島尻郡	98,552	38,137	234.47	420
糸満市	59,484	23,220	46.64	1,275	宮古郡	1,271	539	21.91	58
沖縄市	138,362	55,775	49.03	2,822	八重山郡	5,507	2,910	363.02	15
豊見城市	59,790	22,384	19.45	3,074					

出展：県市町村課「平成25年住民基本台帳人口・世帯数、平成24年度人口動態」、国土地理院「平成25年全国都道府県市区町村別面積調」
 注1：人口及び世帯数については、平成25年3月31日現在の住民基本台帳に記載されている数値である。
 注2：面積については、平成25年10月現在の国土交通省国土地理院調査による。(但し、那覇市、豊見城市、うるま市及び金武町の境界未定部分については、平成21年度普通交付税の算定に用いる市町村面積の協定書によって確定した。)

道路改良と自動車保有台数の伸び率比較



出典：1. (自動車保有台数)は、社団法人 日本自動車工業会「自動車統計月報(2014年3月号)」
 2. (改良延長、実延長)は、沖縄県土木建築部道路管理課「道路施設現況調査(平成24年4月1日現在)」

道路の現況

全国・沖縄道路の普及率比較

道路統計年報(2013年版) 平成24年4月1日現在

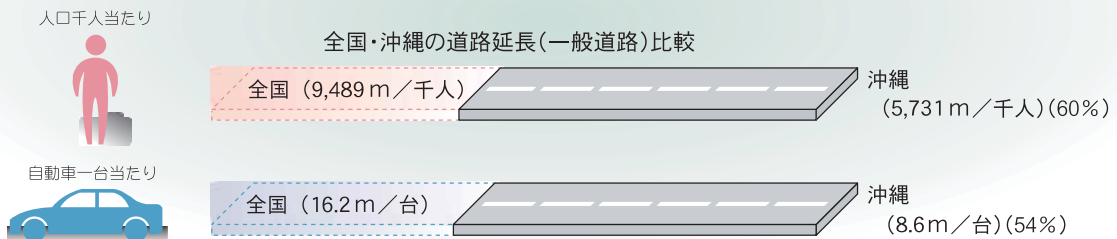
道路種別	全国 沖縄	実延長		改良済延長		舗装済延長		人口千人当り		人口千人当り		人口千人当り		車千台当り		車千台当り		車千台当り		面積km ² 当り		整備済延長	
		(A)	(B)	B/A*	(C)	C/A*	道路延長	全国比率	改良済延長	全国比率	舗装済延長	全国比率	道路延長	全国比率	改良済延長	全国比率	舗装済延長	全国比率	道路延長	率	(B')	B'/A*100	
高速自動車国道	全国	8,050.3	8,050.3	100.0	8,050.3	100.0	63	100.0	63	100.0	63	100.0	101	100.0	101	100.0	101	100.0	21	100.0	—	—	
	沖縄	57.3	57.3	100.0	57.3	100.0	40	63.6	40	63.6	40	63.6	56	55.2	56	55.2	56	55.2	25	118.1	—	—	
一般国道(指定区間)	全国	23,368.0	23,364.3	100.0	23,082.8	98.8	182	100.0	182	100.0	180	100.0	293	100.0	293	100.0	290	100.0	62	100.0	14,622.1	62.6	
	沖縄	329.9	328.6	99.6	329.9	100.0	229	126.1	229	125.6	229	127.7	322	109.6	320	109.1	322	110.9	145	234.3	214.6	65.1	
一般国道(指定区間外)	全国	31,854.3	27,515.9	86.4	27,630.0	86.7	248	100.0	214	100.0	215	100.0	400	100.0	346	100.0	347	100.0	84	100.0	21,809.9	68.5	
	沖縄	171.4	165.7	96.7	160.3	93.5	119	48.1	115	53.8	111	51.8	167	41.8	162	46.7	156	45.0	75	89.3	145.1	84.7	
一般国道	全国	55,222.3	50,880.2	92.1	50,712.8	91.8	430	100.0	396	100.0	395	100.0	694	100.0	639	100.0	637	100.0	146	100.0	36,432.0	66.0	
	沖縄	501.3	494.3	98.6	490.2	97.8	349	81.1	344	86.8	341	86.3	489	70.5	482	75.4	478	75.0	220	150.7	359.7	71.8	
主要地方道	全国	57,923.8	54,148.6	93.5	42,572.9	73.5	451	100.0	422	100.0	331	100.0	727	100.0	680	100.0	535	100.0	153	100.0	35,752.4	61.7	
	沖縄	404.7	373.1	92.2	385.3	95.2	281	62.4	259	61.5	268	80.8	394	54.2	364	53.5	376	70.2	178	116.0	308.9	76.3	
一般都道府県道	全国	71,473.0	44,153.9	61.8	39,394.7	55.1	556	100.0	344	100.0	307	100.0	898	100.0	555	100.0	495	100.0	189	100.0	37,907.2	53.0	
	沖縄	662.0	589.0	89.0	567.5	85.7	460	82.7	410	119.1	395	128.7	645	71.9	574	103.5	553	111.8	291	153.7	516.4	78.0	
都道府県道計	全国	129,396.8	98,302.5	76.0	81,967.6	63.3	1,007	100.0	765	100.0	638	100.0	1,625	100.0	1,235	100.0	1,029	100.0	342	100.0	73,659.6	56.9	
	沖縄	1,066.7	962.1	90.2	952.8	89.3	742	73.6	669	87.4	663	103.8	1,040	64.0	938	76.0	929	90.2	468	136.8	825.3	77.4	
市町村道	全国	1,022,247.8	587,988.0	57.5	191,287.8	18.7	7,959	100.0	4,578	100.0	1,489	100.0	12,838	100.0	7,384	100.0	2,402	100.0	2,705	100.0	587,988.0	57.5	
	沖縄	6,440.0	4,085.5	63.4	2,544.6	39.5	4,478	56.3	2,841	62.1	1,770	118.8	6,277	48.9	3,982	53.9	2,480	103.2	2,828	104.6	4,085.5	63.4	
計	全国	1,214,917.2	745,221.0	61.3	332,018.5	27.3	9,459	100.0	5,802	100.0	2,585	100.0	15,258	100.0	9,359	100.0	4,170	100.0	3,214	100.0	698,079.6	57.5	
	沖縄	8,065.3	5,599.2	69.4	4,044.9	50.2	5,609	59.3	3,894	67.1	2,813	108.8	7,861	51.5	5,457	58.3	3,942	94.5	3,542	110.2	5,270.5	65.3	
沖縄シェア		0.7	0.8		1.2																	0.8	

(注) 各数値は、単位未満を四捨五入したため、数値が合致しない場合がある。全国面積377,961km²、沖縄2,277km²、全国総人口128,438千人、沖縄1,438千人、全国自動車台数79,625千台、沖縄1,026千台である。
 改良済延長で国道、県道は幅員5.5m以上、市町村道は5.5m未満を含む。舗装済延長は簡易舗装除きである。

道路延長

本県は、陸上交通のほとんどを道路に依存していることから、道路整備が県民生活や産業活動に与える影響は極めて大きく、重点的に整備を推進しています。

しかし人口、自動車台数当たりの道路延長は全国平均の約6割程度と低く、増加する交通需要や高速性、快適性等高度化、多様化する利用者のニーズに対応するには、なお一層の体系的な整備とその質的向上が必要です。



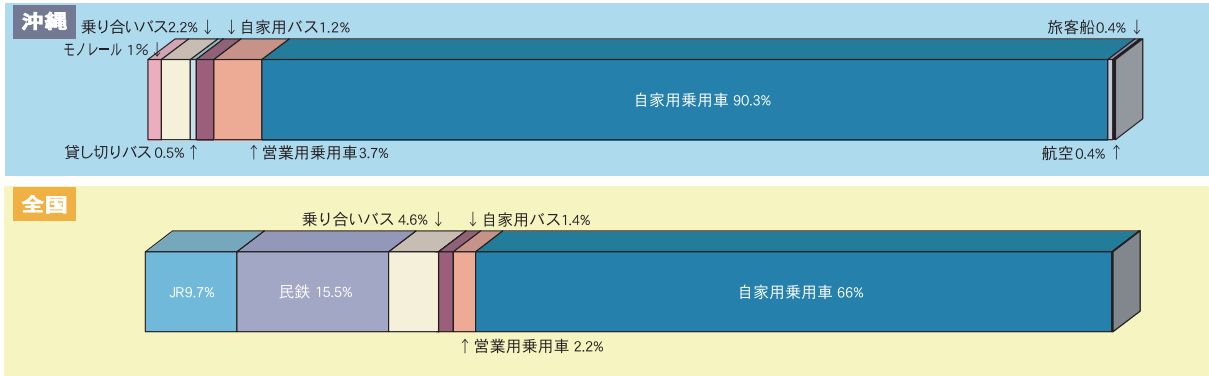
注) 高速自動車国道を含む全道路延長

資料：道路統計年報 (2012年度版)

1.機関別旅客輸送分担率の比較(域内量)

全国では、全旅客輸送(域内)のうち約3割を鉄道で分担していますが、本県では、陸上交通のほとんどを自動車に依存しており、道路の役割は重要です。

特に自家用乗用車の分担率は年々上昇を続け、平成21年度には約9割となっています。



資料：「平成21年度 旅客地域流動調査」

2.自動車保有台数

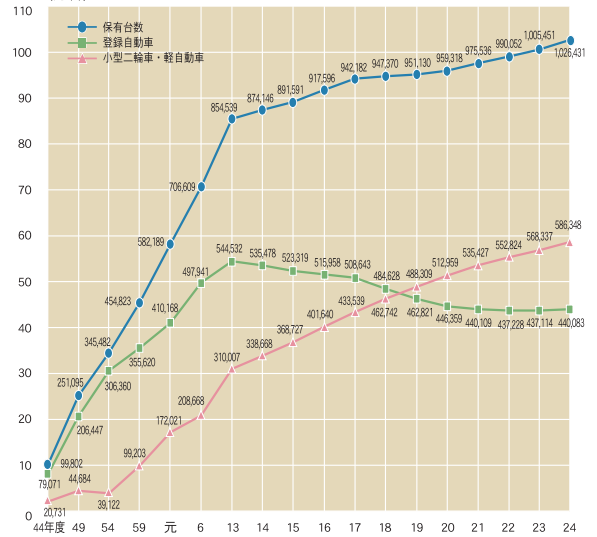
県内の自動車保有台数は年々上昇を続け、復帰時の昭和47年度に比べ、平成24年度末には約5倍となり、一世帯に1.97台になりました。

自動車三輪以上の保有率

	項目	S47年度末	H24年度末	伸び率
沖縄	自動車保有台数 (千台)	198	973	4.91
	人口 (千人)	981	1,438	1.47
	世帯数 (千世帯)	237	591	2.49
	人口一人当たりの保有率 (台/人)	0.20	0.68	3.35
	一世帯当たりの保有率 (台/世帯)	0.84	1.65	1.97
全国	自動車保有台数 (千台)	21,547	75,934	3.52
	人口 (千人)	107,332	128,374	1.20
	世帯数 (千世帯)	29,577	55,578	1.88
	人口一人当たりの保有率 (台/人)	0.20	0.59	2.95
	一世帯当たりの保有率 (台/世帯)	0.73	1.37	1.88

資料：1. (人口、世帯数)は、総務省自治行政局「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(平成25年3月31日現在)」による。
2. (自動車保有台数)は、社団法人 日本自動車工業会「自動車統計月報(2014年6月号)」による。

(万台) 自動車保有台数の推移

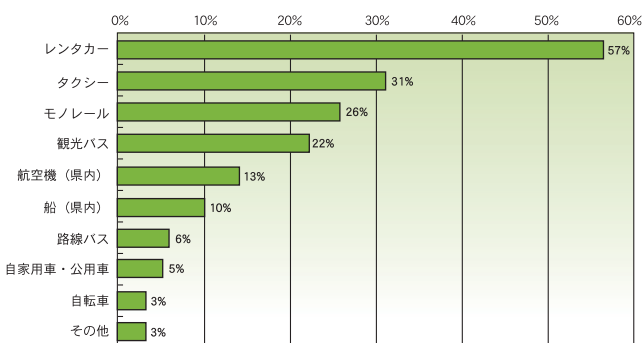


(注)：各年度末の数値である。
資料：沖縄総合事務局陸運事務所「業務概況(平成24年度版)」

3.レンタカーの状況

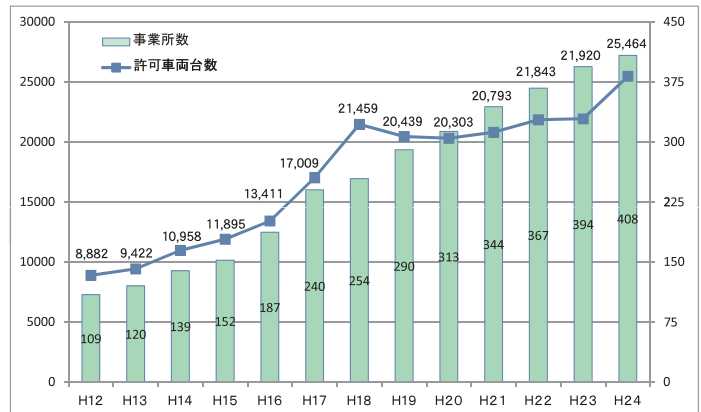
沖縄を訪れた観光客の移動手段はレンタカーが最も多く、また、レンタカー事業所の推移を見ると毎年増加傾向にあり、平成24年度には408事業所(営業所含む)、許可車両台数25,464台となっています。平成12年度と比べて比較すると、事業所数で3.7倍(299事業所増)、車両台数で2.9倍(16,582台増)となっています。

利用交通機関



資料：平成25年度 観光統計実態調査

レンタカー事業所数及び許可車両台数の推移



沖縄総合事務局陸運事務所「業務概況(平成25年度)」

4.交通量 (平成22年度道路交通センサスより)



国道58号 (那覇市松山)

沖縄本島における幹線道路の交通量は図示の状況です。
 那覇市を中心とする中南部で多くなっており、混雑度も高く道路網や交通容量の不足が原因と思われる交通渋滞が発生しています。
 また、休日でも主要観光地周辺の交通量は、平日を上回っています。
 (数値は平日24時間交通量)
 平成22年度は、高速無料化社会実験の影響により、平成17年度に比べて沖縄自動車道の交通量が増加しています。

交通の状況

混雑度: 交通量に対する交通容量の比
 (=交通量/交通容量)
 <<混雑度の目安>>

【1.0未満】

昼間12時間を通して、道路の混雑がなく、円滑に走行できる

【1.0~1.25】

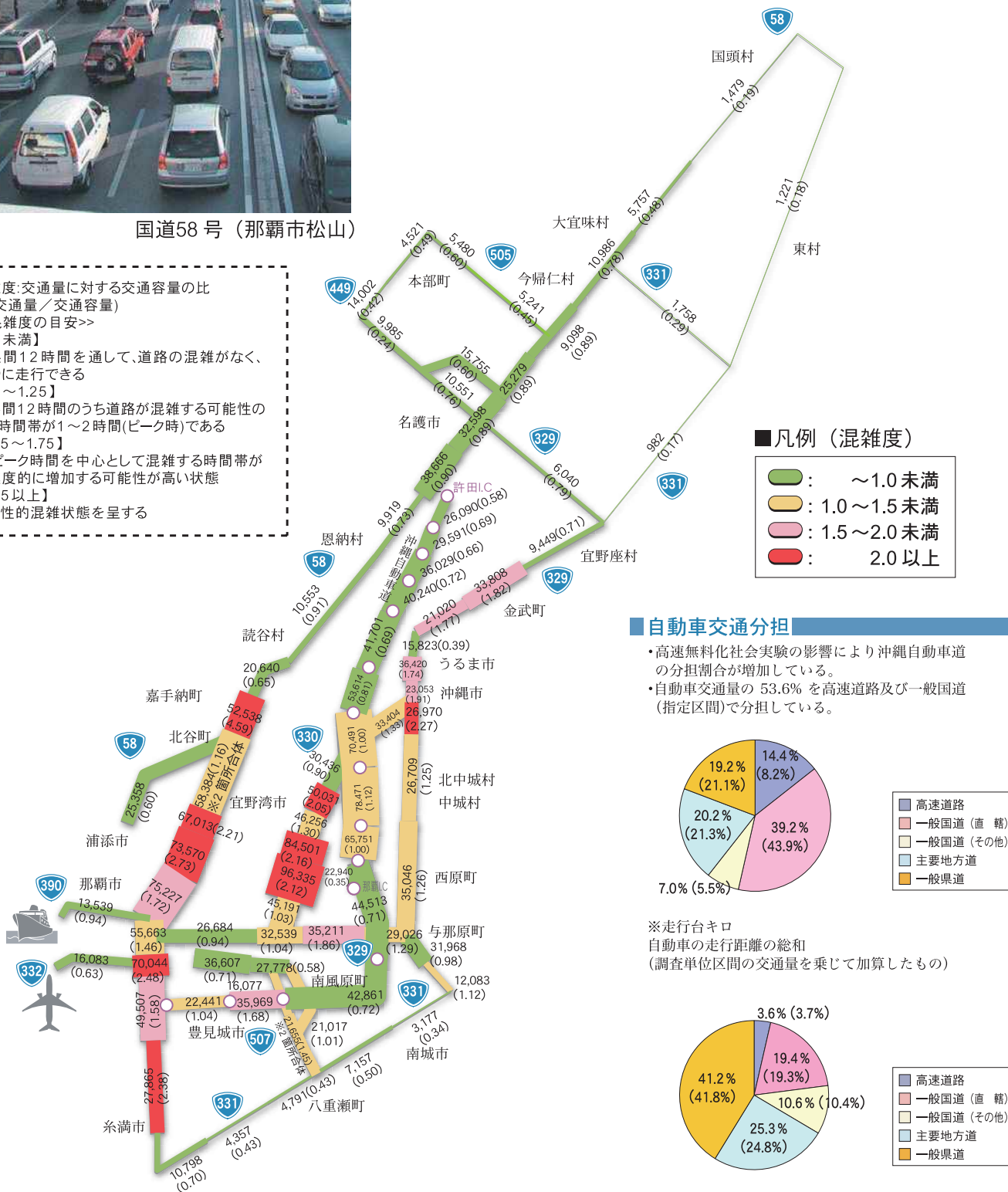
昼間12時間のうち道路が混雑する可能性のある時間帯が1~2時間(ピーク時)である

【1.25~1.75】

ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性が高い状態

【1.75以上】

慢性的混雑状態を呈する

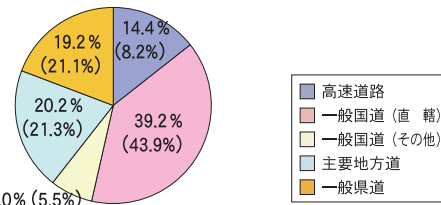


■凡例 (混雑度)

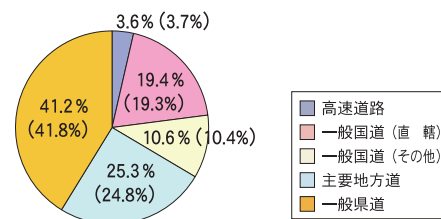
- : ~1.0 未満
- : 1.0 ~ 1.5 未満
- : 1.5 ~ 2.0 未満
- : 2.0 以上

自動車交通分担

- ・高速無料化社会実験の影響により沖縄自動車道の分担割合が増加している。
- ・自動車交通量の53.6%を高速道路及び一般国道(指定区間)で分担している。



※走行台キロ
 自動車の走行距離の総和
 (調査単位区間の交通量を乗じて加算したもの)



道路別延長割合

()書は H17 センサスの数値

5.渋滞状況

■渋滞

三大都市圏と同等の渋滞状況

那覇市、浦添市及び沖縄市等における道路混雑時の旅行速度は、東京23区などの三大都市圏と同等の低い水準となっています。

凡例

<主要渋滞箇所>

- 箇所
- 区間
※交差点等が連担するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間

<道路種別>

- 高速道路
- 高速道路(事業中)
- 一般県道以上
- 市町村道
- 主要施設等

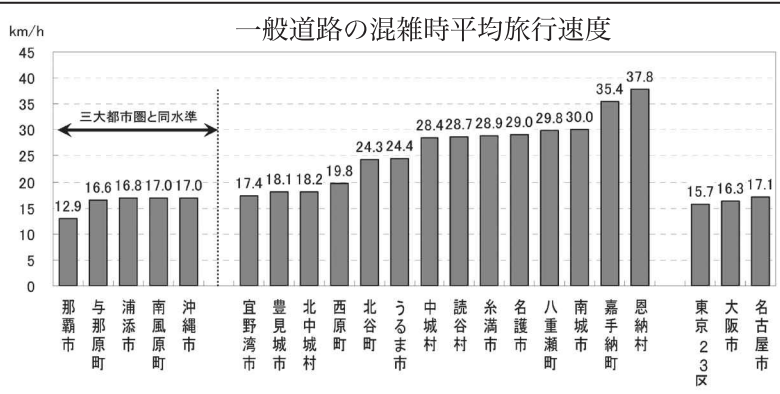
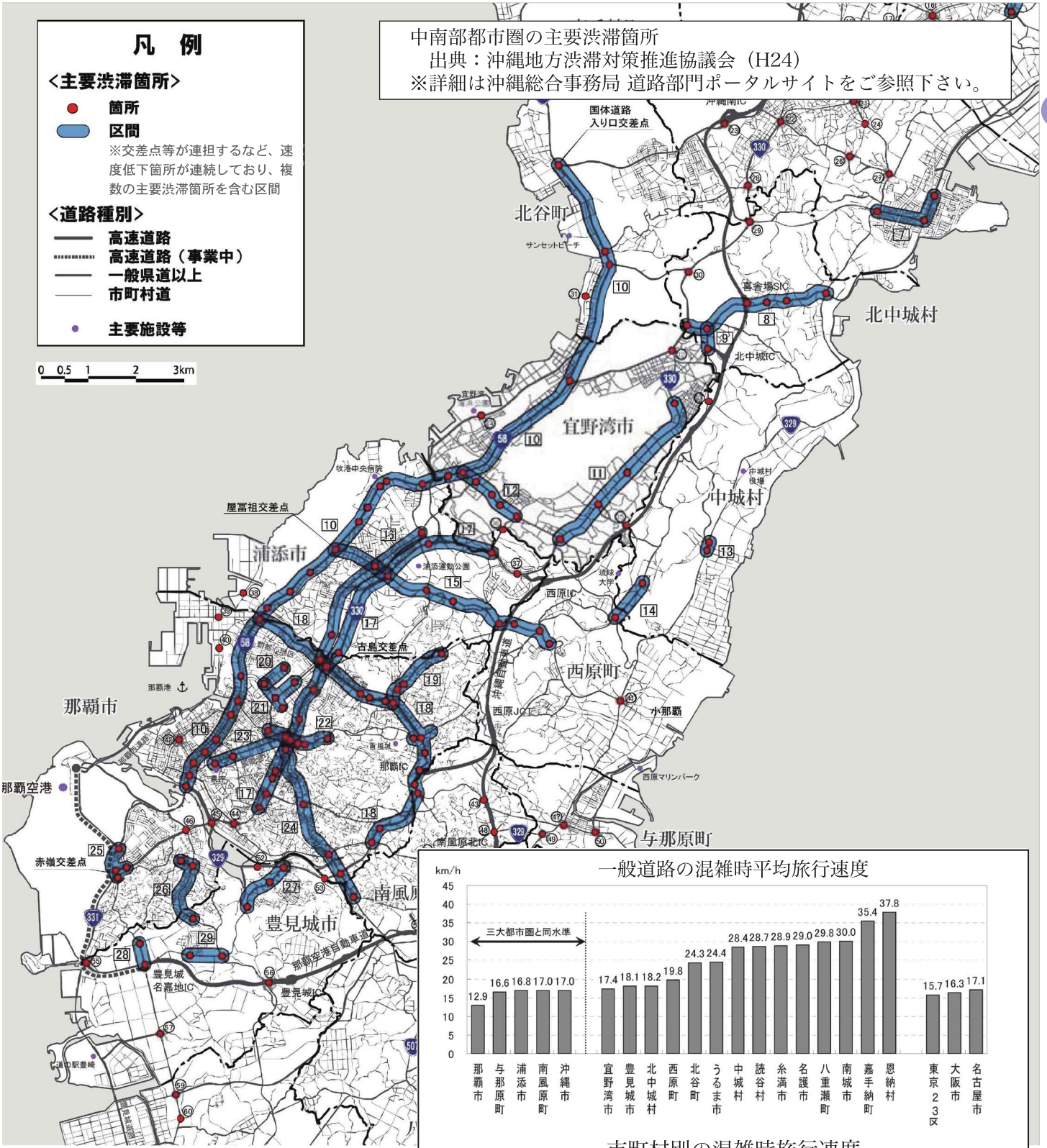
0 0.5 1 2 3km

中南部都市圏の主要渋滞箇所

出典：沖縄地方渋滞対策推進協議会 (H24)

※詳細は沖縄総合事務局 道路部門ポータルサイトをご参照下さい。

交通の状況



市町村別の混雑時旅行速度

※一般道路の平均旅行速度(高速道路、一般道の有料区間は除く)
出典：道路交通センサ一般交通量調査(国土交通省道路局、H22)

道路は県民生活の向上と地域経済の健全な発展に必要な公共施設です。このため、県財政のきびしい状況の中で、選択と集中により、効率的かつ効果的な道路整備につとめています。



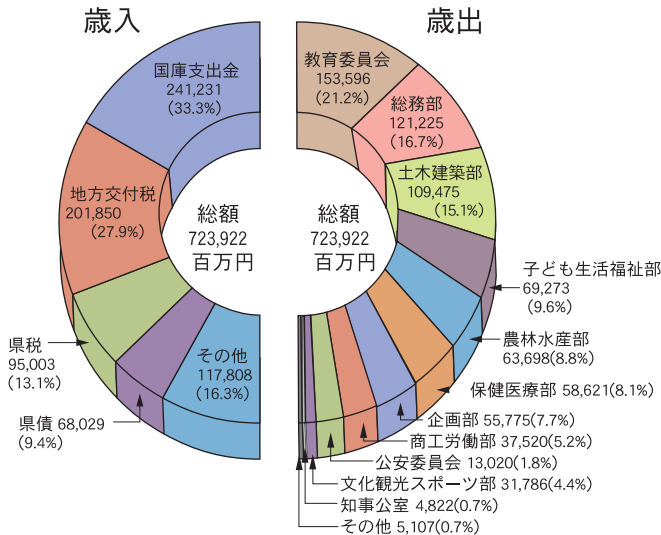
ワルミ大橋（屋我地仲宗根線）

平成26年度予算規模（一般会計）

● 県予算（年度当初） 単位：百万円

県 予 算

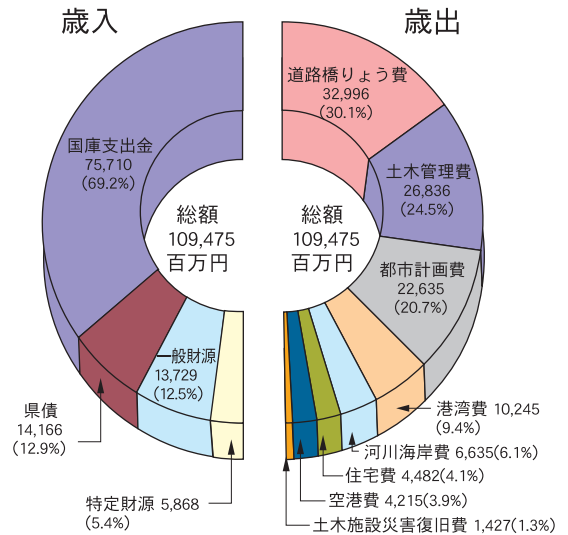
H26年度



● 土木建築部予算（年度当初） 単位：百万円

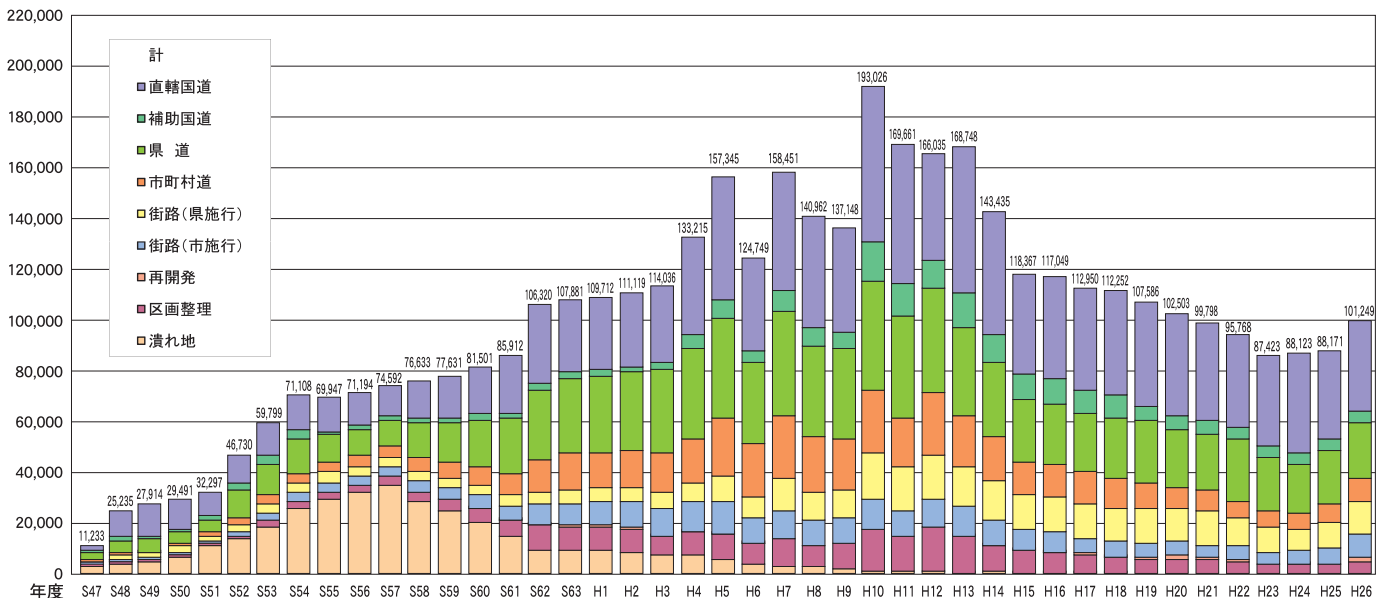
土木建築部予算

H26年度



沖縄県道路事業費の推移（補正後予算ベース）

事業費 (単位：百万円)



注1) 直轄、補助事業は、当初予算ベース(交付金含み)交通安全・調査・再開発・機械は、各管理者に含む。単独費は含まない。各グラフ上の数字は、各年度の合計である。
注2) 但しH26については当初予算である。